

2008.1.3 曇り時々晴れ 鈴鹿・綿向山 山と野木鳥の会



蔵王ダムより綿向山

945 御幸橋 P 1059 林道（3合目） 1125-1135 5合目小屋
1156 冬道（尾根道）分岐 1233-1325 山頂 1351 5合目小屋 1445 御幸橋 P

初めての冬の綿向山、無難な表参道往復とした。気温も低く雪景色を楽しめた。



5合目小屋

雪の状態をみて、3合目の林道出合でアイゼンを着用した。5人のうち3人はアイゼン不要との判断で着用せず。登るに従い、樹氷も見ごたえあるものになってきた。ここは入山者も多いので登山道は踏み固まっておき、歩き易い。



冬道（尾根道）の樹氷

標高925mあたりから夏道は南面のトラバース道だが、冬は尾根道となっている。ほとんど直登ゆえ、厳しい。いきなり息使いが荒くなる。と同時に、雪景色は一段ときれいになる。

本日はTさんも参加している。この会には初めての参加だ。



山頂

3時間弱で山頂到着。目の前に雨乞岳のどっしりした山容、幾分右手に槍のような鎌が岳。本当にすばらしい冬景色だ。これが冬の醍醐味だな。Sさんが「しるこ」を皆にふるまった。おいしかった。幾分晴れ間もあり、気温も上がってきて、昼食も寒くなかった。



山頂近くの尾根道

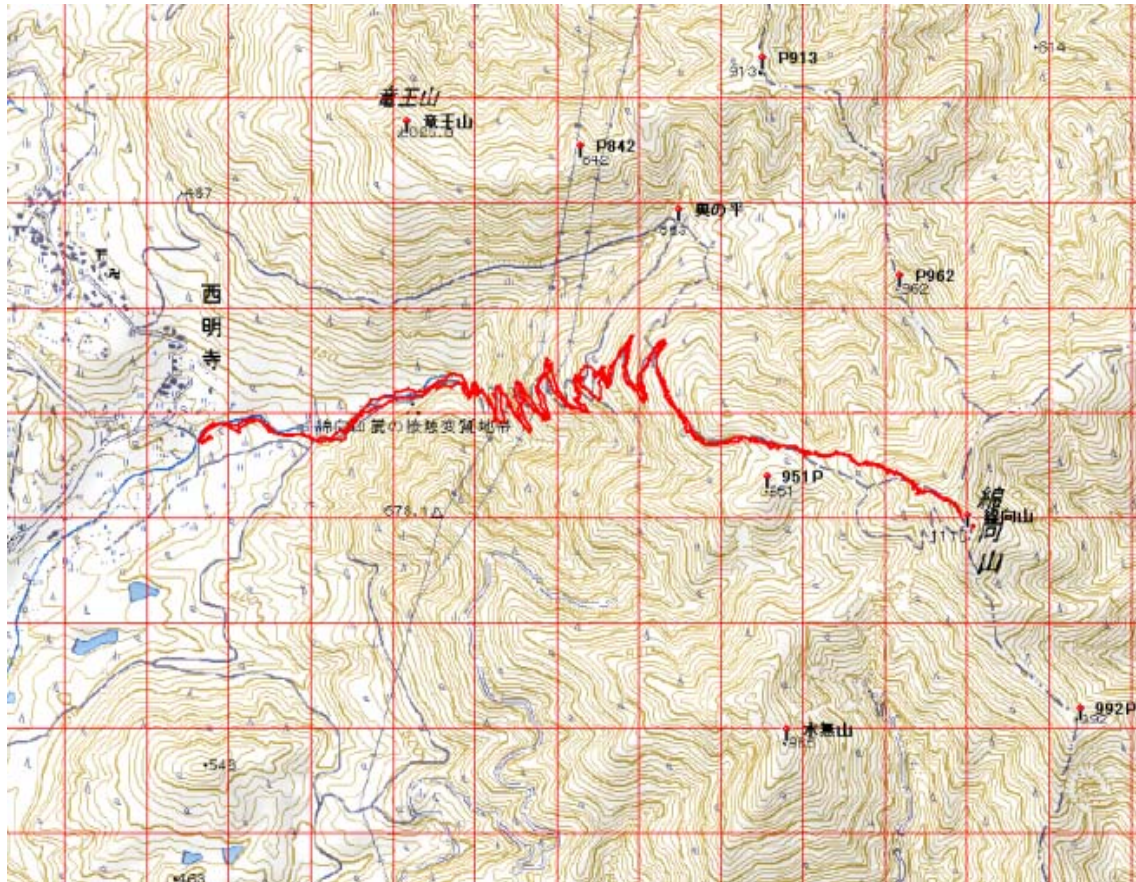
左の写真はそのときのもの。ここで、偶然にもC会のSさんと会った。Sさんは鈴鹿によく来ているので、会っても不思議ではない。ブナの木平に行ってきたとのこと。

「綿向山を愛する会」の会社のOBにも会った。



山頂での記念写真（中央に鎌、左奥に雨乞）

帰りの得意とするメンバーゆえ、1時間強でPに到着。綿向を正月に登る山として定例化したいと思わせるほどGOODな山行でした。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

トップページは<http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/> です。